

様式 1 【申し合わせ事項】 【委員会、全協：共通様式】

令和 4 年 10 月 24 日

総務建設常任委員会

委員長 南部 豊 様

東員町議会 議員 水谷 喜和 ㊟

研修期間	<u>令和 4 年 10 月 13 日 (木)</u> 【1 日間】
研修（視察）先	玉城町 社会福祉法人 玉城町社会福祉協議会
目的（テーマ等）	安心・元気な町づくり 『玉城町元気バス』 ～地域福祉・健康づくりへの取り組み～
資料添付の有無	有 ・ 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページに記入すること。

様式1〔申し合わせ事項〕：【委員会、全協：共通様式】

〔議員氏名： 水谷 喜和 〕

研修概要、内容、所感

議会議長 風口 尚

社会福祉協議会 事務局長 西野 公啓

オンデマンド方式による『元気バス』の導入背景

玉城町で運行していた福祉バス

平成8年 民間路線バスの大幅縮小

平成9年 29人乗りのバスのマイクロバス2台を無料で運行開始

路線数 3ルート、運行便数 1日19便、

年間利用者数を 約27,000人、1便平均乗客数 4.5人

予算 約1000万円/年

からバス！ 空気バス！！

- ・サービスを向上させたい
- ・予算をかけられない

◇ ◇ ◇

オンデマンド交通の導入

オンデマンドバスの考え方

タクシー 高い 便利 路線バス 安い 不便

自宅には送迎せず、路線を持たない乗合のバス

オンデマンド交通への期待

オンデマンド交通 …… 高いポテンシャル 社会からの期待

- ・予約制の乗合バス
- ・乗り合いによりタクシーより高効率
- ・乗客がいなければ移動せず、路線バスより高効率
- ・多数のバス停を設置できるためバス停への便が良い

◇ ◇ ◇

普及への課題

オンデマンド交通普及への課題

- ・オペレーターによる配車
- ・予約という障壁
- ・買取りサーバーにかかるコスト
- ・運転手への分かりにくい指示

玉城町が採用したオンデマンドバスシステム

運行計画アルゴリズム・クラウド形式・使い易いインターフェースが特徴

元気バス利用状況（平成 31 年 3 月末現在）

登録者：1,718 人

年齢分布：65 歳以上・・・73.3% 75 歳以上・・・61%

玉城町運行ログの分析及びアンケート調査から、オンデマンド交通交通による交友関係の広がりが確認された。

削減額の試算（オンデマンド交通）

検証結果により、利用者群、非利用者群の間に一人当たり年平均約 21,000 円の外来医療費の削減が起きていた

これまでにオンデマンド交通を利用した高齢者は 544 人いるので同様の削減が発生しているとすると、1,100 円/年の削減が見込まれる。

運営費約 1,800 円/年には及ばないが!!

オンデマンド交通は、タクシーより優位、玉城町コミュバスより優位という結果となる。

高齢者、交通弱者に特化した交通システム玉城町「元気バス」の動向、今後も継続検討すべきと感じる。